

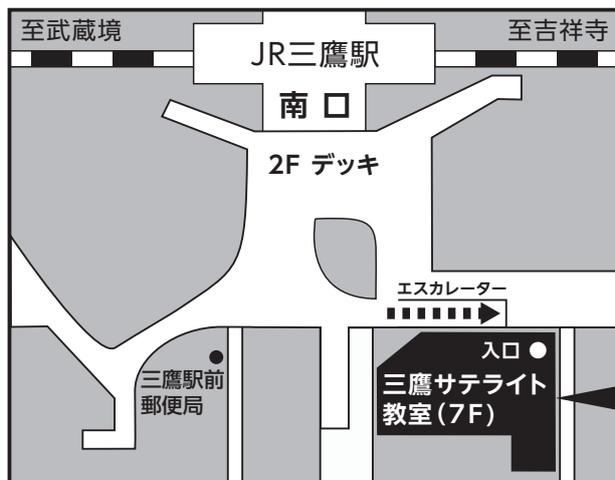
地誌に見る江戸の寺院と信心の姿

—主に法華信仰を通して—

受講料 (振込額)	12,500円				
必携テキスト	—————				
講座概要	曜日	金曜日		日程	
	時間	10:00～11:30			
	回数	全5回	定員		40名
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F / 大教室			
講師	日本女子大学名誉教授、東大寺学術顧問 永村 眞 (ながむら まこと)				
	熊本県生まれ、早稲田大学政治経済学部経済学科卒、同大学院文学研究科博士課程中退、東京大学史料編纂所助手・助教授、日本女子大学文学部助教授・教授を経て日本女子大学名誉教授。文学博士（早稲田大学）、第23回角川源義賞、第55回密教学術賞を受賞。著書に『中世東大寺の組織と経営』、『中世寺院史料論』、『中世醍醐寺の仏法と院家』、編著に『醍醐寺の歴史と文化財』、『中世の門跡と公武権力』、『中世寺院の仏法と社会』、『江戸に生まれた庶民信仰の空間』、論文に「鬼子母神堂と法華信仰」等がある。				
内容	江戸町の多彩な風景や人々の姿は、江戸時代に生まれた多くの地誌から知ることができます。それらのなかで、特に記事の信頼度が高く詳細な図版をもつ地誌が「江戸名所図会」です。江戸雉子町で草創名主の由緒をもつ斎藤月岑が、祖父・父から引き継いだ草稿を完成させ、絵師長谷川雪旦の挿図を加え、日本橋須原屋から発行した本書には、江戸町とその周辺の多彩な風景がありありと描かれています。そこで本書の記事を通覧しながら、江戸町に点在する寺院と、そこに信心を寄せる人々の有様を、特に広く受容された法華信仰を柱にたどりたいと思います。なお法華宗（日蓮宗）の宗祖日蓮の教えに崇敬をよせる信心を、法華信仰と呼ぶことにします。				
	①4月12日 : 法華信仰の姿 ②4月26日 : 雑司ヶ谷鬼子母神 ③5月10日 : 雑司ヶ谷法明寺 ④5月24日 : 池上本門寺 ⑤6月 7日 : 鼠山感応寺				



武蔵野大学 三鷹サテライト教室



〒181-0013
東京都三鷹市下連雀3丁目26-12
三鷹三菱ビル

JR中央線・総武線
東京メトロ東西線
JR 三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 7F
(三菱UFJ銀行のビル)

1F入口からお入りください

- 「受講の手引き」を必ずお読みの上、ご参加ください。